

2019 年度 5 月野鳥と自然観察会 報告

日 時	2019 年 5 月 25 日 9 時 30 分～12 時 30 分		記録者 北浦きし子
探鳥地	石井ダム～鳥原貯水池		
参加人数	在校生 10 名	顧問 2 名	総計 12 名 天候 晴れ
観察コース	神鉄鈴蘭台駅～石井ダム～鳥原貯水池		
観察概要	<p>5 月というのに、神戸市の気温が 29 度近く上がると予報が出ており、顧問から小まめに水分補給を摂るようにと熱中症対策を聞いて歩き始める。</p> <p>22 日の下見会では、小部川と神戸電鉄が交差するところでキセキレイが出迎えてくれたが、本番では姿どころか鳴き声も聞こえない。鳥の世界でも高温注意報が出ているようだ。</p> <p>今日は、探鳥会には厳しい日と思えたが、その不安を打ち消すように、すぐ近くからオオルリの鳴き声が聞こえて来た。神戸電鉄の架線の一番上に留まっていた。タカ類に狙われ易い場所だが、サービス精神旺盛で我々の目の前で長い時間鳴いてくれた。光線の具合で頭の青い色が分かりにくい、という声が聞こえたのか、オオルリは少し離れた木の枝に移動。これでどう？とポーズをとってくれた。</p> <p>ウグイスは木の上で鳴いても色が地味で見つけにくい。今日のウグイスは、遊歩道の上の電線に留まり、胸いっぱい空気を吸い込み、喉を震わせ高らかにホーホケキョーと繰り返す。緑陰にある電線は居心地が良いと見え、我々の首が痛くなるまで長い時間鳴いていた。オオルリ、ウグイスと続くと、期待するのはサンコウチョウ。しかし、出演を予約していなかった為、出番はなかった。</p> <p>【観察できた鳥】アオサギ、イソヒヨドリ、ウグイス、オオルリ、カイツブリ、カワウ、カワセミ、キジバト、スズメ、ツバメ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、14 種</p> <p>【声を聞いた鳥】センダイムシクイ、メジロ、ソウシチョウ、3 種</p>		
感想 (その他)	鳥原から菊水山にかけてカラスザンショウが沢山生えている。それは生物多様性の重要な役割を担っている。秋のムギマキ、ヒタキ類を期待したい。		
次回以降の 予 定	6 月 5 日 (水) 神戸薬科大学植物園見学 雨天決行。要申込。下見はありません。		



一羽
オオルリ
三大美声のうちの



喉から胸まで拡声
器。ウグイス